

# 大阪市職員（保健師）

## 勤務案内



保健師発祥の地で  
新たな一步を

大阪市保健師は、令和元年度に策定した  
「大阪市保健師の活動の方向性」を活動の指針として、  
大阪市民の笑顔輝く健康なまちづくりのため、  
仲間とともに、活き活きと活動に取り組んでいます！

## — めざす職員像 —

社会環境の変化に対応し、職員としての役割を果たすためには、職員一人ひとりが主体的に考え行動し、能力を高め続けていくことが重要です。

### めざす職員像

自ら学び考え行動する『自律した職員』

#### ◆自律した職員とは

- ・担当業務において、課題設定、目標設定をする
- ・職員としての役割をふまえ、何をすべきか考え方行動する
- ・どんな職員になりたいのかイメージする
- ・自分の強み、弱みを理解し、自己啓発を行う

## — めざす保健師像 —

大阪市は、保健師発祥の地です！地区担当制を基本としながら、280万市民の健康課題と向き合った保健活動を進めています。

### めざす保健師像

行政保健師として、健康なまちづくりを推進し、  
地域に責任を持つ自覚と力量を備えた保健師

# 大阪市の保健師業務の魅力

## 魅力① 政令指定都市だからこそ幅広い活動ができる

大阪市は、保健所1か所と24行政区にそれぞれ保健福祉センターを設置し、保健衛生行政を総合的に展開できる体制となっています。

ジョブローテーションにより、健康づくりや母子保健など地域住民に身近な対人保健サービスから、難病・公害対策、感染症の蔓延防止といった健康危機管理対応まで、幅広く様々な仕事を経験することが可能です。

## 魅力② 地域の人と共に考え、共に活動できる

大阪市保健師は「地区担当制」を中心に活動しています。

地域全体の健康課題を把握して、地域住民が「健康」に生活できるよう責任を持って保健師活動ができるところが魅力です。

地域の担当保健師として相談を受け、地域の健康課題を踏まえて事業等を企画し、住民と一緒に健康づくりに取り組んでいます。

## 魅力③ 充実した研修

個別支援や地域診断など、日頃の保健活動に必要な基本的技術や知識・技術を獲得するために様々な内容の研修を行っています。

個人のスキルに応じて、個別支援や地域診断、事業化や施策化などの力量形成を図り、母子・成人・高齢・精神・感染症など、事業別の研修も行い、保健師としての専門性を高める環境が整っています。

職場内研修（OJT）を基本として、研修を行うことで、着実なキャリアアップが図れます。

保健師研修が充実！

人材育成の体制が整っています



1～5年目（新任期）

6年目以上（中堅期）

管理職（管理期）

大阪市保健師人材育成ガイドライン

新任期保健師人材育成マニュアル 中堅期保健師人材育成マニュアル 管理期保健師の役割に関するガイドライン

新採用研修 1・3年目研修

中堅期研修

管理期研修

業務別研修：事業課（母子・成人・高齢・精神・感染症・難病等）による研修

OJT  
Off-JT

派遣研修：国立保健医療科学院などへの派遣研修

## 配属先と主な業務

勤務場所は、24の行政区、市役所（本庁）、保健所、こころの健康センターなど様々です。

大阪市の保健師は、福祉部門、産業保健部門など、地域保健部門以外の広い分野でその能力が求められています。

